



## 体育の授業では 逆上がりができるように ならなきゃいけない？

私は *NO* だと思う。

体育の授業ではその子の生きられる世界を広げることが大切だと考えています。例えば、外国語を学ぶことで新しい世界が広がるように、体の使い方の自由度が増すことで、豊かに生きられる世界も少し広がります。当たり前に行われる授業も、「からだと環境の関係を円滑にする」と考えると新たな体育の姿が見えてくるのではないのでしょうか。

|                               |                                                                                                                                  |                                                                                                               |                                                                                                  |  |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>高橋 徹</b><br>TAKAHASHI TORU | 専門                                                                                                                               | 身体教育学                                                                                                         |                                                                                                  |  |
|                               | 研究キーワード                                                                                                                          | 体育・スポーツ哲学   スポーツ教育   野外教育                                                                                     |                                                                                                  |  |
| 教育学域 講師                       | 授業内容<br>担当している「教育学特論(体育学)」、「教育学特論演習(体育学)」の授業では、体育学の人文領域の研究を進める上での基礎となる研究方法、研究対象、研究動向を確認するためにテキストの解説、および関連論文についての受講者間での輪読を行っています。 | 主要研究課題<br>戦後以降の日本の体育授業の考え方や授業方法に対するアメリカの教育思想や体育理論からの影響について研究しています。また、最近では体育の近接領域でもある野外教育分野の思想研究についても取り組んでいます。 | もっと知るには<br> |  |
| 大学院：教育学専攻(修士課程) 担当            |                                                                                                                                  |                                                                                                               |                                                                                                  |  |
| 学 位<br>博士(体育科学)( 国士舘大学 )      |                                                                                                                                  |                                                                                                               |                                                                                                  |  |



## 01 立ち止まって考える 体育哲学

体育哲学とは、運動の価値などについて哲学思想的な方向からアプローチする学問です。「なぜ時間割の中に体育があるのか」といった問いから始まり、身体活動を通じた人間の成長や生き方を探索していきます。体育なのに「ちょっと待てよ」と止まって考える、面白い学問です。



## 05 日本語や言葉を 大切にする

論文指導では、テーマや考察も大事ですが「きちんとした文章を書くこと」に一番力を入れています。そのため、徹底的に修正指示を入れることもあります。人文系の研究は実験データではなく言葉で説明する分野だからこそ、誰が読んでも伝わる文章に仕上げることを大切にしています。

## 02 キャンプにスキー 野外教育



野外教育は、自然体験活動などを通じて学ぶものです。小学校の海の学校や山の自然の家のような体験が代表的ですが、「野外」は必ずしも自然に限りません。学校という枠を超えた学びの場こそが野外であり、そこに教育の可能性を見出すことが、野外教育の面白さだと考えています。



## 03 器械体操、 体づくり運動

専門種目は器械体操。学生時代も体操競技に打ち込んでいました。また、「体づくり運動」も専門の一つです。学習指導要領では「心と体を一体として捉える」ことが重視されており、体づくり運動にはその考えを育むという側面もあります。

# 高橋の体育学

身体  
教育



哲学

## 04 学会を通じて 広がるつながり



2024年は岡山大学で「日本体育・スポーツ哲学会」を開催し、学生にも共にスタッフとして参加してもらいました。2025年の「日本野外教育学会」では大学院生が研究発表をします。こうした学会活動を通じて、学生や院生が研究者と交流し、つながりを広げる機会を作れたらと考えています。

## 06 おしゃべり好きは 研究者向き



この研究室では、おしゃべりを大切にしています。研究では他者の意見に興味を持つことが大切で、対話を通じて考えを深める力が必要です。また、体育は嫌いだけどスポーツは好き、という学生もいます。そうした違和感に気づくことは論文を書く上でとても大切です。



## 07 卒業研究 体育に競争は必要？

近年、体育の授業では競争の必要性が問われる傾向にあります。ある卒業生は「競争は必要なのかなのか？」というテーマで研究を進めました。学習指導要領や関連する文献の変遷を追い、歴史的視点から競争の捉え方を分析。競争はスポーツ本来の文化的価値であり、大切にすべきものではないか、という結論に至りました。

## 08 ざっくばらんな 関係性



学生とはざっくばらんな関係を築くようにしています。例えば、LINEでの連絡もOKにして、コミュニケーションをスムーズに。実習では学生と共にスキーやスノーボードに取り組み、温泉にも一緒に入ったこともあり。学生にとっても、気軽に相談できる環境を作ること心がけています。

## 研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY



### 読書を大切に しています

私の研究室では、体育なのに読書をかなり重要視しています。

体育なのに  
止まって考えたり  
アウトドアで  
活動する  
研究室



### からだを 賢くする

特定のスポーツが上手くなるのではなく、自分のからだを上手に扱えるようになる授業作りを心がけてます。



### キャンプ 好きなら、、、

キャンプ好きな院生は、自らの体験をベースに「自然の美しさと教育の関係」の研究をはじめました。



考

THINK



### 地球全部が 遊び場になるよ

ダイビングのインストラクターに言われた一言が、世界の広がりについて考えるヒントにもなりました。



### スキー・スノボに マリンスポーツ

私自身アウトドアスポーツが大好きなので、屋外で活動することが好きな人とは気が合うでしょう。

身体教育学

動

ACTION



### からだを動かすのも 大好き

授業では学生以上に楽しそうにマットやとび箱、鉄棒で体を動かしています。

高橋 徹

TAKAHASHI TORU

専門

身体教育学

研究キーワード 体育・スポーツ哲学 スポーツ教育 野外教育

もっと知るには

